

学校体育通信 「やまぐちっ子の元気」

第22号 H28(2016).11.01

山口県教育庁学校安全・体育課 学校体育班

山口県学校体育セミナー

10月18日（火）セントコア山口において、平成28年度山口県学校体育セミナーを開催しました。本セミナーをとおして、生涯にわたって運動に親しむ重要性等の理解を深め、授業や運動部活動、体育的行事等に携わる教員としての資質の向上を図り、広く子どもの体力の向上に資するとともに、平成36年度に山口県で開催される全国学校体育研究大会に向け、各団体の研究・研修体制の充実と連携体制の確立を目指して実施しました。

また、シドニー五輪出場、元東洋大学陸上部監督、現旭化成陸上部コーチの川嶋伸次（かわしま しんじ）先生に「ランナーとして指導者として～これからの指導のあり方～」と題して御講演をいただきました。

将来の体育・スポーツを担っていく山口県の子どもたちのために、体育・スポーツに携わる指導者が備えるべき資質や役割などについて、先生の豊富な経験と、スポーツ医・科学の視点に立った指導の重要性等、幅広い御示唆をいただきました。さらに陸上競技に関わるトピックスや、裏話など普段聞くことのできない興味深いお話も伺うことができました。

事例発表（子どもの体力向上に向けた取組について）として、光市立室積中学校の井上春樹教頭先生に、今年度全小・中学校において取り組んでいただいている、「柔軟性向上運動メニューの取組」について発表していただきました。正しい実施方法で、継続的に行うことで効果があることの発表に加え、実際の児童への指導場面の動画を拝聴でき、参加者も大変参考になったのではないのでしょうか。柔軟性の向上には継続性が必要です。現在、2回目の柔軟性確認調査を実施いただいているところですが、調査後も引き続き柔軟性向上運動メニューに取り組んでいただきたいと思います。

来年度もこの時期に山口県学校体育セミナーを予定しております。より多くの先生方に御参加いただき、体育及びスポーツ活動の充実が一層図られますことをお願いいたします。



モデル校での活動の様子

遊び・運動大好き！やまぐちっ子育成事業モデル校での活動の様子を紹介します。

【山口県レクリエーション協会指導者の活用】 下松市立花岡小学校

山口県レクリエーション協会から講師の先生を6名呼びし、遊び・運動教室を開催しました。4時間目に、3年生を対象に3つの遊び・運動を紹介・体験しました。

①ポイズンリムーバー（助け鬼の一種）

ススキなど季節の植物をもってこれ（柔らかく安全なもの）、それを蜂の針に例え、刺されたらその場で大きな声で痛み、立ち止まる鬼ごっこを行いました。蜂に刺された人を助けるために、二人組で毒を抜く作業を行います。子供たちの大好きな鬼ごっこです。鬼遊びのバリエーションに加えてみてはいかがでしょうか。



②ケンパー（ケンステップ）

ケンステップを活用し、ケンパー遊びを行いました。初めはケンケンパーのリズムで一方通行で行い、発展として向かい合ってチーム対抗で、ジャンケンゲームを行いました。ゲーム化することで子供たちは楽しみながら取り組みました。急ぐことで、ケンパーの動きが雑になりがちなので、声かけをされました。



③ラダーゲッター

ラダーに、ひもの両側にゴムボール（ゴルフボール大）がついたものを投げて得点を競うものです。投げる経験が少ない子供たちは、下から投げるこの遊びも、初めはなかなか上手に投げることができませんでした。投げ方やコツを教えていただき、どんどん上手になりました。



昼休みには、子供たちがやりたい遊び・運動を自由に選択して遊びました。ラダーゲッターが一番人気で、汗びっしょりになるくらい楽しみました。この教室を機会に遊び・運動の楽しさを体感し、運動のバリエーションが増え、休み時間に遊び・運動をする子供が増えることを期待しています。

